

協創プラットフォーム開発1号ファンドへの出資金230億円が認可されました。

平成28年10月21日

東京大学が設立・出資した東京大学協創プラットフォーム開発株式会社が平成28年7月25日付けで提出した「特定研究成果活用支援事業計画」が同年8月29日に文部科学省・経済産業省の両省から認定されました。

これを受け、国立大学法人法の規定に基づき、協創プラットフォーム開発1号投資事業有限責任組合に対する本学からの出資金についての「出資に係る認可申請書」を文部科学大臣に提出していたところ、同年10月5日に認可されました。

なお、東京大学協創プラットフォーム開発株式会社は、通常のベンチャーキャピタルがベンチャー企業に早い段階から直接投資するベンチャーキャピタルとは異なり、間接投資又は共同投資を行う会社です。

【出資の概要】

1. 出資先

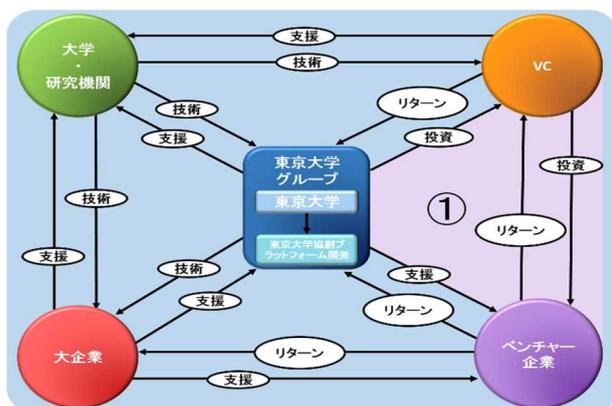
- | | |
|----------|--|
| (1) 名称 | 協創プラットフォーム開発1号投資事業有限責任組合 |
| (2) 住所 | 東京都文京区本郷三丁目40番10号 |
| (3) 代表者名 | 無限責任組合員
東京大学協創プラットフォーム開発株式会社
代表取締役社長 大泉 克彦 |

2. 出資する額 230億円

3. 出資を行おうとする時期 組合設立日

4. 出資を必要とする理由 組合設立に伴い、ベンチャー企業等への投資資金として出資し、東京大学における技術に関する研究成果の事業化を推進するため。

【ファンドの概要】



- ① 質と量の充実したベンチャーキャピタルと連携したベンチャー創出
- シード・アーリー段階を支えるリスクマネーの供給と質の高いベンチャーキャピタルの育成
⇒間接投資
 - 成長の後押しなど、ミドル以降のベンチャーに対する支援
⇒共同直接投資